

平成30年第4回（8月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

夏季休業期間を中心に各種スポーツ大会が行われており、市内在住又は出身の選手が、全国規模の大会への出場を果たしています。把握できた範囲ですがご紹介します。個人競技では、卓球で大学生1人と小学生1人、バドミントンで高校生1人と小学生1人、アーチェリーで高校生2人、空手で小学生1人、陸上のジャベリックボール投げで小学生1人、400m走、800m走で中学生1人、1500m走で中学生1人、走り幅跳びで中学生1人が出場を果たしています。団体競技では、軟式野球スポーツ少年団で1チーム、全国高校総体にボートで2人、バスケットボールで1人など、多くの選手が出場しました。市内在住・出身の子どもたちの活躍を大変うれしく思っており、教育委員会としても引き続き支援の充実に努めていきたいと考えています。

市が購入を目指している「国宝 太刀 無銘一文字 山鳥毛」が、寄託を受けている岡山県立博物館において、9月13日から10月14日の間で特別公開されることとなりました。市民の皆さまにも見ていただける機会となりますのでお知らせします。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 学力・学習状況調査について

今年4月に実施された学力・学習状況調査の結果について概要をお知らせします。

今年度は、全国調査、県調査及び市独自の調査を実施し、全国調査は、小学校6年生と中学校3年生の国語、算数・数学、理科の3教科を対象として実施しました。また、県調査は、小学校3年生から5年生、中学校1年生の国語、算数・数学の2教科を、中学校2年生は、国語、数学、英語の3教科を対象として実施しました。市独自の調査は、中学校1年生の社会、理科の2教科を対象として実施しました。

その結果、全国調査については、平均正答率が、小6・中3の両学年とも、どの教科においても、岡山県とほぼ同程度でした。県、市調査については、どの学年も概ね目標値を超え、平均正答率も県以上ですが、一部の学年の教科で課題がみられました。また、同じ学年集団の経年変化を追跡したところ、小学校4、5年生と中学校2年生は、平均正答率が前年度よりも上がっていました。

学習状況調査では、学習面においては、自分で計画を立てて家庭学習をしている児童生徒は増加しています。生活面においては、家で宿題をする児童生徒の割合は県平均とほぼ同じですが、放課後や週末の過ごし方として、テレビやDVDを見たり、ゲームやインターネットをしたりすることが多く、家庭と協力した計画的な生活の仕方を身につけさせることが課題です。

学力・学習状況調査は、児童生徒の学力面と生活面の実態や課題を的確に把握し、各学校の実情に応じた取り組みや児童生徒の実態に応じた指導を進める上で、貴重な資料となっています。今後も、学力・学習状況

調査の結果を真摯に捉え、教師の授業力と児童生徒の学習意欲の向上に活かしていきます。

○ 学校施設整備について

邑久中学校北棟大規模改造工事は、5月末に本体工事を終え、2学期から改修した校舎の利用を本格的に開始します。現在、仮設校舎の解体作業に着手しており、10月末までに全ての工事を終える予定です。

「公共施設等先進的CO₂排出削減対策モデル事業」による小学校の省エネ型空調設備やLED照明等の整備については、夏季休業期間に牛窓東小学校、牛窓西小学校、牛窓北小学校、裳掛小学校の4校で改修を終えました。

また、幼稚園の保育室、遊戯室等への空調整備についても、市内6園全てにおいて、夏季休業期間に工事を終えています。今後は、牛窓東小学校と今城小学校のプール改修工事を予定しており、現在、工事の発注準備をしているところです。

学校施設の整備に当たっては、学校及び関係機関と連携を図りながら、学校教育活動への影響に配慮しながら計画的に実施するとともに、事故やけがの無いよう安全管理を徹底していきます。

○ 学校施設におけるブロック塀について

今年6月に発生した大阪北部地震により、ブロック塀が倒壊し女子児童が亡くなる事故が発生したことを受け、市の学校施設においても小中学校12校、休園中の3園を含む幼稚園9園について、ブロック塀の点検調査を行いました。そのうち小学校4校、幼稚園4園については二次

調査を実施中ですが、緊急に対策が必要と認められた一部のブロック塀については補強・撤去工事を行ったほか、その他の施設においても注意喚起を図る措置を行っているところです。

今後、二次調査の結果により、対策が必要と判断された施設については、補強や撤去等の対策方針を決定し早期に対策を図りたいと考えています。

○ 邑久学校給食調理場の業務委託の状況について

邑久学校給食調理場については、平成30年4月から調理・配送・洗浄業務の民間委託を実施しています。教育委員会では7月に邑久町地域の幼小中学校の全教職員、小学校高学年の児童及び中学校全生徒の931人に給食アンケートを実施しました。

「給食はおいしいですか」の質問について「いつもおいしい・おいしいことが多い・普通」と回答した割合は、小学生94.5%、中学生88.6%、教職員98.5%でした。また、教職員に対する「調理業務が民間委託に変わって、給食の味付け等で変わったと感じられることがありますか。」の質問については、91.9%が「おいしくなった・変わらない」との回答で、「おいしくなくなった」の1.8%を大きく上回りました。

給食アンケートからは調理業務を民間委託しても以前と変わらず、質の低下は見られないという結果が得られました。

○ 備前長船刀剣博物館の特別展について

今年は、備前長船刀剣博物館が開館して35周年となることから、6月29日から9月2日まで、開館35周年記念 日本美術刀剣保存協会 岡山

県支部 創立70周年 特別展「古今東西刀匠・職方列伝パートⅡ」を開催しています。

今回の展示は、開館35周年及び日本美術刀剣保存協会岡山県支部創立70周年記念のものであることから、当館所蔵の備前刀を含む41口の優品を展示しています。特に、今回の展示では、備前刀の黎明期を支えた友成ともなりや、山鳥毛と同派とされる福岡一文字派すけしげの助茂や、長船派を代表する長光ながみつなど、これまで当博物館ではほとんど展示したことの無い備前刀の名品たちを一堂に見ることができます。

○ 瀬戸内市立美術館の企画展について

美術館では、9月1日から10月21日まで、企画展「一追悼・鬼才木彫家が遺したもの―小林陽介遺作展」を開催します。美術館で平成23年度に作品を展示した彫刻家・小林陽介氏が、昨年36歳の若さで逝去されました。このことをうけて、代表作や死の直前まで制作に打ち込んだ作品群をご覧ください。遺作展を開催します。

10月26日から12月9日まで、特別展「まど・みちおのうちゅう」を開催します。「ぞうさん」「やぎさんゆうびん」「ふしぎなポケット」など、だれもが口ずさんだことのあるこれらの童謡を生み出したのが詩人まど・みちおです。直筆資料や映像などで足跡をたどるとともに、50代頃に集中的に制作された絵画作品を通してそのあたたかな世界を紹介します。

今年度取り入れた対話型鑑賞法については、夏休みの展覧会でのワークショップや、学生、新入職員などを対象に実施しています。また文化のつなぎ手を育てるアートコミュニケーター養成講座を開講しており、秋

以降の展覧会から実際に受講生が美術館での活動を開始します。このような活動を通して、市民がより芸術文化に親しめる環境作りに努力していきます。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成30年8月29日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行